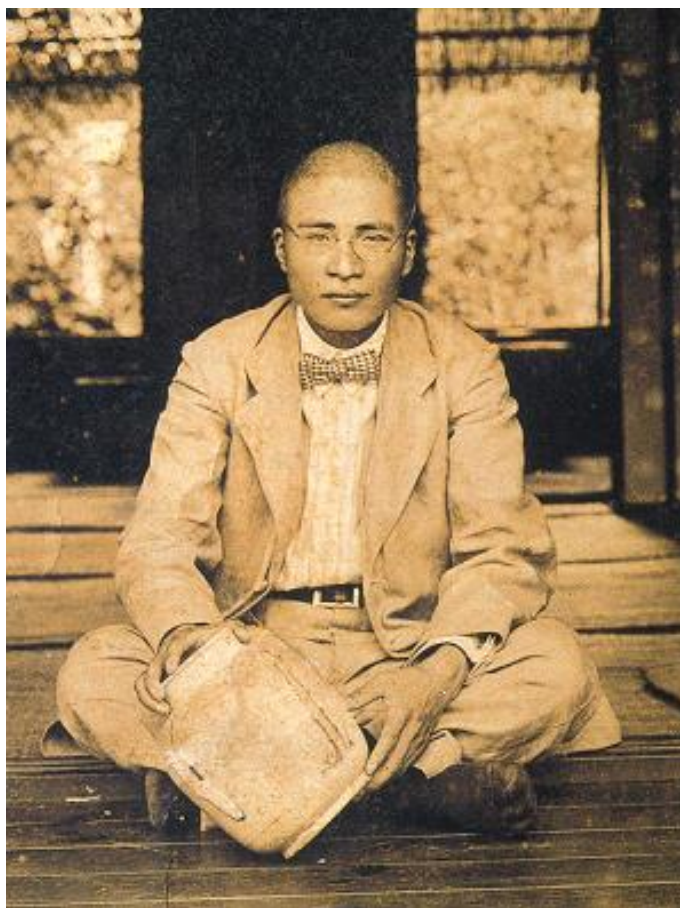


李春浩氏講演会 + 映画上映（「道－白磁の人－」2012年公開）

「多文化共生への道 今、なぜ浅川巧なのか」



浅川巧（1891－1931）

2019年7月16日（火）15時～

東京大学駒場キャンパス 101号館 2階研修室（入場無料、事前予約不要）

浅川巧は、植民地下の朝鮮で生活していた日本人でありながら、朝鮮民衆と親しく交わり、朝鮮の山林と芸術を愛した人物でした。朝鮮の工芸品に美を見出し、それを買い集め、研究をまとめています。その活動は民藝運動の中心的人物であった柳宗悦にも影響を与えました。おしくも、1931年に死去するものの、その葬儀は多くの朝鮮人が参列し、いまでもソウル郊外にある墓所は韓国の人びとによって守られています。彼の生き方から学ぶ、「多文化共生」について、浅川を主人公とする映画の企画・上映に尽力されてこられた、李春浩さんよりお話しいただき、あわせて2012年公開の映画「道－白磁の人－」を上演いたします。

李春浩 1950年、在日コリアン2世。東京写真専門学校九州校卒業後、カメラマン・撮影助手の仕事、韓国料理店を経営のかたわら、在日コリアンと日本人の友好や多文化共生のための教育活動に従事。映画『白磁の人』の企画者であり、2012年の制作実現と上映運動の中心的役割を果たしている。著書に『雲をつかんだおじさん－映画『道－白磁の人』の歩みと在日コリアンの志』信濃毎日新聞社、2012年、がある。

問合せ IHS・教育プロジェクトH：project-h@ihs.c.u-tokyo.ac.jp